

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	641	課コード	0503	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし		
1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	心も身体も健康プラン・食育推進行動計画の策定・推進		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・健康づくり支援課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ●全市					
	⑤事業期間	平成16年度 ~			⑥担当職員数	12人 (換算人数) 0.58人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当初	5,982千円 (うち人件費 5,394千円)		変更後	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	31103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 心も身体も健康プラン	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民一人ひとりが自らの健康状態を知り、自主的に健康づくりができるよう、生活習慣を改善するためのさまざまな情報の提供や、気軽に相談できる体制の充実を図るとともに、健康づくりの機会として体験型事業を実施し、健康づくりに対する理解や意識の向上に努めます。			事業目的	健康増進・維持に関する基本的な考え方や具体的な方策を明らかにし、健康づくりに対する自主的な取組を推進し、全世代における生活習慣の改善、健康寿命の延伸を目指す。また、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、体験活動を通じ、食に関する理解を深め、実践できるような食習慣を確立する。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画推進及び目標数値の達成状況等を検討・検証する。 ・「我孫子市健康づくり推進協議会」及び庁内組織である「心も身体も健康プラン推進委員会」を必要に応じて開催する。 ・次期「心も身体も健康プラン」、「食育推進行動計画」、「歯と口腔の健康づくり基本計画」を一体的に策定する。 			当該年度執行計画	健康増進・維持に関する基本的な考え方や具体的な方策を明らかにし、健康づくりに対する自主的な取組を推進し、全世代における生活習慣の改善、健康寿命の延伸を目指す。また、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、体験活動を通じ、食に関する理解を深め、実践できるような食習慣を確立する。次期「心も身体も健康プラン」「食育推進行動計画」及び「我孫子市歯と口腔の健康づくり基本計画」の策定を行う。前年度の市民アンケートや健康づくり推進協議会、健康づくり推進協議会の部会、心も身体も健康プラン推進委員会を適宜開催し、意見等をもらい反映させ、ハブコメを経て3月に策定を完了させる。政策：計画書の印刷（500冊）庁内印刷を活用する。					
		当該年度活動結果指標	健康づくり推進協議会、心も身体も健康プラン推進委員会開催回数	単位	回	想定値	5	実績値			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	計画に位置づける事業の目標を達成する				間接	健康プランに位置づけた目標指標が改善した事業割合		%	56.2	62	
3年後	計画に位置づける事業の目標を達成する				間接	計画に位置づけた目標を達成した事業の割合		%	0	65	
最終(概ね5年後)	計画に位置づける事業の目標を達成する				間接	5年後の計画に位置づけた目標を達成した事業の割合		%	0	70	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)
		進行管理	健康づくり推進協議会報酬 (14人×3回×3,500円)	147	進行管理	健康づくり推進協議会報酬 (14人×3回×3,500円)	147		進行管理	健康づくり推進協議会報酬 (14人×2回×3,500円)	98
		部会等報償費	健康プラン推進委員会(庁内組織) 啓発リーフレット印刷	39	部会等報償費	健康プラン推進委員会(庁内組織) 啓発リーフレット印刷	147		部会等報償費	健康プラン推進委員会(庁内組織) 啓発リーフレット印刷	171
		次期計画用市民アンケート通信運搬費	次期健康食育計画アンケート集計委託	618	次期健康プラン・食育計画書等印刷	消耗品：計画印刷用紙	216	78	部会等報償費	部会等報償費	39
返信用封筒印刷		29									
予算(済)額	合計		2,178	合計		588	合計		308	合計	308
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%
	一般財源		2,178			588			308		308
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.58		0.58		0.58		0.58			
	正職員人件費	5,394		5,394		5,394		5,394			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	7,572		5,982		5,702		5,702				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,524千円/回		1,196.4千円/回								
2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	病気の原因となる危険因子を予防・改善するための「一次予防」を最も重要な取り組みとして位置付けた「心も身体も健康プラン」、市民が生産を通じた健全な食生活の実現や食文化の継承、健康の確保が図られるよう策定された「食育推進行動計画」、さらには、歯と口腔の健康づくり推進条例に基づく「歯と口腔の健康づくり基本計画」を一体的に着実に推進していくことは、市民の健康寿命を延伸させるために必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要		
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		計画の推進にあたり、条例で位置づけられた「健康づくり推進協議会」において進行管理を行い、事業や目標の、改善を行う。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要			
	56.2	62	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		<超過理由等>			
	5,982	1,590	<削減の内容>						○要 ○不要		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	1.04		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100					
		%	10万円						○要 ○不要		
3. 事後評価											
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)											
評価	評価コメント				改善策及び展開方向						